

2023 環境経営レポート

Environmental Management Report



タイトル：木にさいてるきれいなはな
作者：成松 博枝
作者のコメント：色をいろいろ使い、バラを目立つようにしました。
花だからちょうちょを描きました。
真ん中にハートも描きました。
提供：夢のかけら舎

2024年7月1日発行
第20版：2023年3月～2024年2月実績



(株)グリーンロジスティクス
e-style camp

ホームページ <http://www.greenlogistics.co.jp>



@GREEN_LOGI0743



1.経営理念と環境経営方針	1
2.SDG'sの取組み	2
3.事業概要 I ~IV	3~6
4.環境経営マネジメントシステム	7
5.環境経営目標	8
6.環境活動実績	9
7.環境活動計画の取組結果と その評価 I ~ II	10~11
8.教育・研修実施計画及び実施記録	12
9.地域環境コミュニケーション I ~IV	13~16
10.環境関連法規の遵守	17
11.代表者による全体評価と見直し	18
12.環境への取組の履歴	19
13.今年度の取組み I ~ II	20~21



経営理念と環境経営方針

経営理念

1. 地域環境コミュニケーションの形成

廃棄物処理事業活動を通じて地域社会に豊かな環境コミュニケーションを形成します。
これにより地域社会の一員として地域のあらゆる要望に対して、私達の企業資源の全てを活用して「私達らしく」応えられる企業であり続けます。

2. 学習型企业への発展

全社員が主役の会社を目指します。
社員の創意工夫や自主性が十分に発揮できる社風を創り、働く環境の中から互いに学びあい尊重しあい、活力に満ちた心豊かな人間集団としての学習型企业を目指します。

環境経営方針

基本理念

株式会社グリーンロジスティクスは、廃棄物の中間処理・収集運搬業務を通じて、人と環境が調和し、共存できる循環型社会への構築に向けての地域環境保全に努めます。

行動指針

1. 環境負荷の低減を目指し、重要項目として下記の項目に重点を置き、計画的・継続的・効果的なCO2削減活動を行います。

- ① 収集運搬車両及び重機等による燃料使用量の削減
- ② 産業廃棄物リサイクル率の向上
- ③ 水光熱使用量の削減
- ④ 再生可能エネルギーの生産・供給
- ⑤ グリーン商品の積極的購入及び資源の有効活用

2. 全社員が、地域社会における役割と責任を認識し、地域融和活動に努めます。

- ⑥ 第一に私達は、地域社会の一員であることを自覚します。そして、地域に対して「役立ちたい」というもっとも高い価値観を共有します。
- ⑦ 地域の企業・環境団体や行政との連携を深く図り、地域が参加できる環境保全活動を企画・実践します。そして、知識・情報を共有し環境ネットワークづくりに努め、地域社会にも広く発信します。

3. 環境関連法規・条例・要綱及び全ての要求事項を遵守します。

4. あらゆる人に環境レポートを公開し、地域環境コミュニケーションの形成のための協力と理解を求めます。

～この環境方針を基底に、環境経営システムを確立し、継続的に運用・改善を行います～

制 定 日 2005年5月1日
最 終 改 定 日 2018年4月1日
株 式 会 社 グ リ ー ン ロ ジ ス テ ィ ク ス
代 表 取 締 役 岩 崎 浩



【熊本県SDG's登録制度】

登録証と取組み項目

私たちは以下の項目を重点項目としてSDG'sに取り組んでいます。



@2010熊本県くまモン

第1期熊本県SDG's登録事業者として登録しました。



【取組み事項の決定】



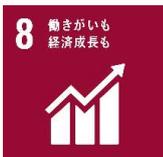
5. ジェンダー平等を実現しよう

- 5-1 職場内外におけるジェンダー平等。
- 5-5 職場内外の意思決定において、女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。



7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

- 7-2 再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- 7-a 化石燃料の使用量の削減。



8. 働きがいも経済成長も

- 8-5 老若男女、障がい者の雇用の確保及び働きがいのある業務・環境の提供。
- 8-8 すべての労働者に安心安全な労働環境の促進



12. つくる責任 つかう責任

- 12-4 廃棄物による人への健康被害や環境への悪影響を最小限化するため、廃棄物の大気・水・土壌への放出を削減する。
- 12-5 廃棄物の発生防止・削減・再生利用。



17. パートナーシップで目標を達成しよう

- 17-17さまざまなパートナーシップの経験や資源を基にした公的・官民・市民・社会のパートナーシップを推進する。



事業概要 I

◆会社概要

事業所名	株式会社グリーンロジスティクス
代表者名	岩崎 浩
所在地	管理事務所／熊本県菊池郡大津町杉水2506番地
	圧縮・梱包及び破碎・選別棟・現場事務所／熊本県菊池郡大津町杉水2509番地1
資本金	1,000万円
設立	1992(平成4)年12月21日
事業内容	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
	一般廃棄物処分業(大津町)・産業廃棄物処分業(選別・破碎/圧縮・梱包)
	有価物(古紙・再生樹脂・鉄・非鉄スクラップ)の回収・加工・販売
会計年度及び環境年度	3月1日から翌年2月末日
情報公開	ホームページ http://greenlogistics.co.jp
	産廃情報ネット情報開示システム http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou

◆許可内容

No.	許可の種類	自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日
1	一般廃棄物収集運搬業	大津町	第10号	2022.4.1	2026.3.31
2		菊池市	第2309号	2021.4.1	2025.3.31
3		合志市	第15号	2021.4.1	2025.3.31
4		菊陽町	第125号	2022.4.1	2026.3.31
5		益城町	第24-3号	2022.4.1	2026.3.31
6		西原村	第4294号	2021.4.1	2025.3.31
7	一般廃棄物処分業	大津町	第64号	2021.4.1	2025.3.31
8	産業廃棄物収集運搬業	熊本県(積替保管舎)	第04310008464号	2022.10.11	2029.9.8
9		鹿児島県	第04603008464号	2021.8.12	2026.8.11
10	産業廃棄物処分業	熊本県	第04320008464号	2019.5.7	2030.9.29

※2013.5.16 熊本県より『優良産廃処理業者』に認定

※2019.1.11 事業範囲の変更許可(積み替え保管の追加)



事業概要Ⅱ

◆事業全体計画

◇産業廃棄物処分業(熊本県)

排出事業所より排出される産業廃棄物を搬入し、計量後、処理前保管場所にて保管する。その後、機械選別ライン・破砕機・圧縮梱包機にてそれぞれ処理を行う。その後は処理後保管場所に保管し有償売却又は処理委託する。

◇産業廃棄物収集運搬業(熊本県)

熊本県内の排出事業者より委託を受けた産業廃棄物を収集し、排出事業者が指示する中間処理業者又は最終処分業者に飛散・流出することなく速やか且つ適正に運搬する。

◇産業廃棄物収集運搬業(鹿児島県)

主に自社の中間処理場より排出される残渣物の紙くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、廃プラスチック類を中間処理施設及び最終処分場へ運搬する。

県内の各事業場より排出される燃え殻、ばいじん、汚泥は最終処分場へ、動植物性残渣は中間処理施設へ運搬する。

水銀使用製品産業廃棄物、石綿含有産業廃棄物は中間処理施設及び最終処分場へ運搬する。

◆処理計画量

◇産業廃棄物処分量(熊本県)

処分する産業廃棄物の種類等(選別・破砕・圧縮梱包)

廃プラスチック類60t/月・木くず50t/月・金属くず6t/月・がれき類20t/月・紙くず2t/月・繊維くず0.5t/月

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず20t/月・ゴムくず0.1t/月・混合廃棄物150t/月

◇産業廃棄物収集運搬業(熊本県)

収集運搬する産業廃棄物の種類等

1)紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・廃プラスチック類・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず⇒800t/月

2)廃プラスチック類・木くず・金属くず⇒50t/月

3)木くず⇒60t/月

4)がれき類⇒50t/月

5)ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず⇒50t/月

6)動植物性残渣⇒0.6t/月

7)燃え殻・ばいじん⇒1t/月

8)汚泥⇒2t/月

9)水銀使用製品産業廃棄物(金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・廃プラスチック類・汚泥)⇒0.6t/月

10)石綿含有廃棄物(ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類・廃プラスチック類)⇒5t/月

◇産業廃棄物収集運搬業(鹿児島県)

収集運搬する産業廃棄物の種類等

1)廃プラスチック類、木くず、金属くず、紙くず、繊維くず、ゴムくず ⇒ 26.1t/月

2)ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ⇒ 40t/月

3)がれき類 ⇒ 10t/月

4)動植物性残渣 ⇒ 1t/月

5)燃え殻・ばいじん・汚泥 ⇒ 1.1t/月

6)水銀使用製品産業廃棄物 ⇒ 1t/月

7)石綿含有産業廃棄物 ⇒ 2t/月



事業概要Ⅲ

◆事業の規模

		単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高		百万円	466	403	391	430	492	505	532
廃棄物取扱量 (有価物含)	収集運搬	t	12240	12240	11549	11031	12216	12575	12569
	中間処理	t	7695	7497	7429	7351	8434	8660	8464
従業員数		人/年	36	32	30	32	33	36	37
敷地面積		m ²	6342	6342	6342	6342	6342	6342	6342
車両台数		台	17	16	16	17	17	17	19

※2017年度 既存事業地の拡張

◆施設の種類の処理する廃棄物の種類、処理能力

	選別施設	破碎施設	圧縮梱包施設①	圧縮梱包施設②	積替保管施設
品目	廃プラスチック類 木くず 金属くず 紙くず 繊維くず ガラスくず ゴムくず コンクリートくず及び陶磁器屑	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず	廃プラスチック類 金属くず 紙くず 繊維くず	廃プラスチック類 金属くず 紙くず	①石綿含有廃棄物 ・廃プラスチック類 ・ガラスくず ・コンクリートくず及び陶磁器くず ・がれき類 ②水銀使用製品産業廃棄物 ・廃プラスチック類 ・金属くず ・ガラスくず ・コンクリートくず及び陶磁器くず ・汚泥
処理能力	15t/日(8h)	廃プラスチック類 3.3t/日(8h) 紙くず 4.3t/日(8h) 木くず 4.2t/日(8h) 繊維くず 4.8t/日(8h)	廃プラスチック類 65.6t/日(8h) 紙くず 73.6t/日(8h) 木くず 83.2t/日(8h) 繊維くず 244.8t/日(8h)	紙くず 2.9t/日(8h) 金属くず 10.8t/日(8h) 廃プラスチック類 3.4t/日(8h)	保管上限・面積・高さ ①石綿含有廃棄物 保管上限/6.1m ³ 面積/6.9m ² 高さ/0.88m ②水銀使用製品産業廃棄物 保管上限/0.76m ³ 面積/1.4m ² 高さ/0.6m
処理方式	手選別及び機械選別ライン	破碎機	圧縮梱包機	圧縮梱包機	



事業概要Ⅳ

◆運搬車両

【種類と台数】

車種	大きさ	台数
クラム車	8t	1
アームロール車	10t	1
	4t	2
ユニック車	2t	1
	4t	1
パッカー車	3t	1
	4t	9
軽トラ	2t	1
キャブオーバ	1t	1
合計		19台

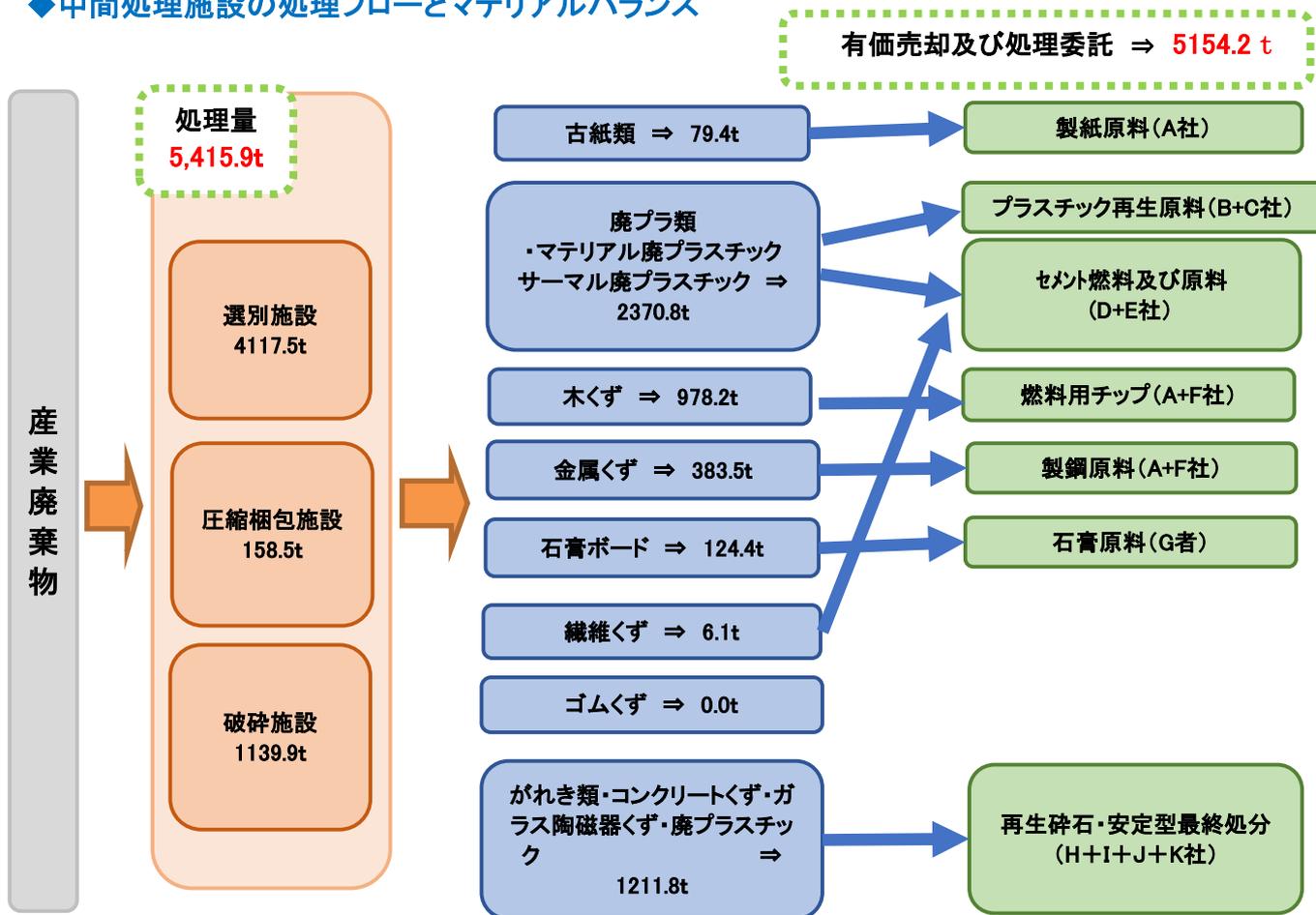
【低排出ガス車の導入状況】

◇平成12年度基準適合/排出ガス25%低減車	1台	5.3%
◇平成12年度基準適合/排出ガス75%低減車	1台	5.3%
◇平成12年度基準適合/排出ガス85%低減車	1台	5.3%
◇平成17年度基準適合/排出ガス10%低減車	3台	15.8%
◇平成21年規制適合車	1台	5.3%
◇平成22年規制適合/排出ガス10%低減車	6台	31.6%
◇平成28年規制適合車	3台	15.8%

【低燃費車の導入状況】

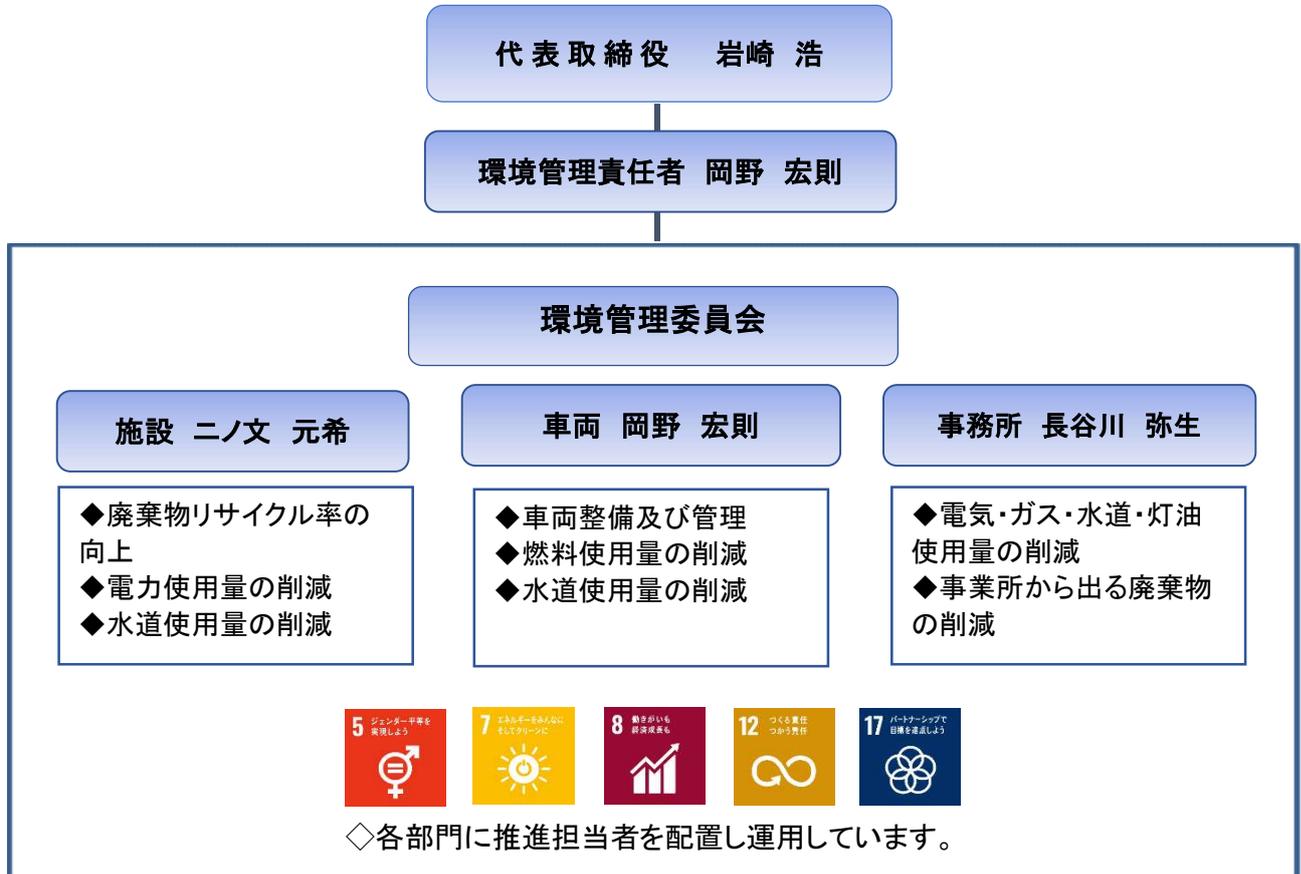
◇平成27年度燃費基準達成車	12台	63.1%
----------------	-----	-------

◆中間処理施設の処理フローとマテリアルバランス



環境経営マネジメントシステム

◆エコアクション21組織図



☆環境管理責任者の連絡先 (096)293-0743

	主な役割と権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の策定とEA21環境マネジメントシステムの統括。 ・環境管理責任者の任命。 ・全体の取組み状況や評価及び見直しの実施・指示。 ・環境経営レポート発刊の承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表取締役より委任を受け環境経営システムの構築・運用・維持に関する責任と権限。 ・環境経営計画の策定及び進捗管理を代表取締役へ報告。 ・環境関連法規の取りまとめと、活動の評価及び環境経営レポートの作成、公表。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者と連携し環境経営システムの構築・運用・維持の補佐。 ・環境活動における決定事項の社員全員への周知及び環境活動記録の取りまとめと報告。



環境経営目標

環境目標		単位	2021年度実績	2022年度実績	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標
二酸化炭素排出量		Kg-CO2	431,567	328,051	328,000	348,000	348,000
		Kg-CO2/百万円	880	649	765	650	650
購入電力量		KW/h	8,901	9,476	9,300	9,250	9,200
購入動力量			59,364	60,099	59,000	65,000	65,000
太陽光発電量		KW/h	88,169	88,701	85,000	85,000	85,000
化石燃料	1) 灯油	L	342	396	340	270	260
	2) ガソリン		2,459	2,878	2,500	2,900	2,800
	3) 軽油		150,746	111,404	111,000	120,000	120,000
	4) ガス(LPG)	Kg	57	45	44	40	35
水資源使用量		m ³	833	839	820	815	806
事業所からの廃棄物排出量		Kg/人	9.0	8.9	8.8	8.7	8.6
リサイクル率の向上		%	75.8	70.3	72.0	76.0	77.0

○二酸化炭素排出量については、収集運搬車両及び重機の稼働による軽油の割合が高く、業務量により変動するため、売上百万円当たりの数値で環境目標を設置している。

○購入電力の排出係数(調整後排出係数)については、2023年度実績の新出光(0.403Kg-CO2/kwh)及び九州電力(0.407Kg-CO2/Kwh)を使用した。

○購入電力との比較ができるよう太陽光発電量を記載した。

○太陽光発電量については、発電シミュレーションにより目標(85,000Kwh以上)を設定した。

○当社の業務は、廃棄物の収集運搬及び中間処理業なので、中間処理業で取扱う廃棄物に係るリサイクル率(76%以上)で環境目標を設定した。

○プラスチック資源循環促進法の施行により、廃プラスチックの収集運搬量・中間処理量の更なる増加が見込まれるため、燃料及び水光熱使用量の目標値を23年度の実績プラスαで見直す。

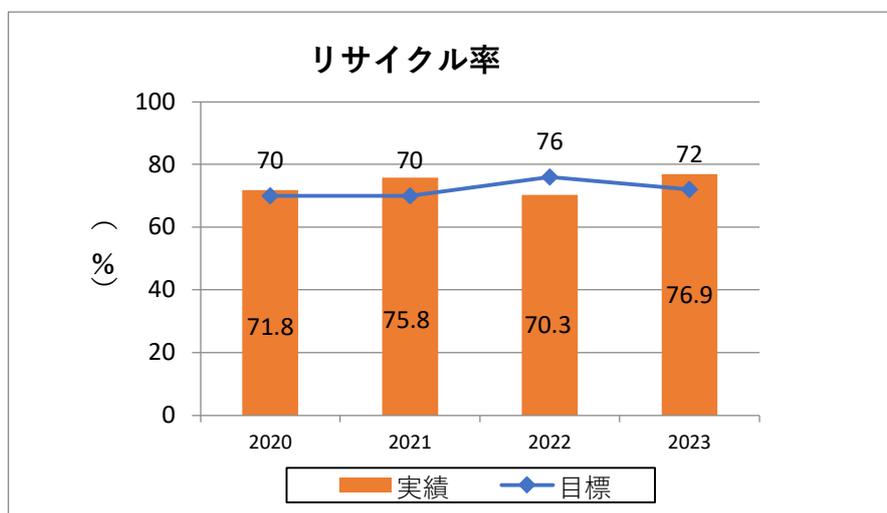


環境活動実績

●二酸化炭素排出量の削減		
取組項目	取組内容	評価
電気・電力使用量の削減	【事務所】	
	①未使用部屋の照明・パソコンの電源はこまめにオン・オフの切り替えをする	○
	②エアコンの設定温度を夏季は一定(28℃)とし、冬季はヒーターを活用することで電気の使用量を削減する	○
	【圧縮・破碎・選別施設】	
	①負荷を減らし効率的な稼働に努める	○
灯油・ガス使用量の削減	①給湯室のガスコンロ使用は必要最低限に留める	○
	②ヒーターのフィルター清掃(冬場1回/月)	×
	③エアコンは使わずヒーターの使用を徹底する	○
軽油・ガソリン使用量の削減	①エコドライブ講習会の実施	○
	②タイヤ点検講習会の実施とタイヤ空気圧チェックの実施	○
	③重機運転・メンテナンス研修会の実施	○
	④過積載をなくし燃料使用量削減の向上に努める	○
	⑤処理委託先及び有価物売却先への輸送を4t車から大型車両へ変更することで燃料使用量を削減する	○
	⑥車両ごとの燃費を算出し、講習会の企画や車両のメンテナンス・買い替えの目安とする	×
●水使用量の削減		
取組項目	取組内容	評価
	①洗車は高圧洗浄機を使用する	○
	②冬場にお水道管凍結による破裂防止のため、毛布を巻くなどの対応をする 極寒時には、水を少量流すなどの対策をする	○
	③漏水の早期発見のため、夏場は2週間に1度、冬場は1週間に1度の漏水点検をする	×
	④水道使用時に水の出っぱなしをしない	○
	⑤蛇口・ストッパーなど設備不良のチェックや取替を適時行う	○
●事務所からの廃棄物排出量削減		
取組項目	取組内容	評価
	①可燃・不燃・ビンカンペットの分別の徹底	○
	②プラスチック類の分別	○
	③紙類の分別(古紙・新聞・シュレッダー)	○
	④社内文書はできるだけメールやSNSツールを利用し、紙で必要な場合は裏紙を使用する	○
	⑤ファクシミリの受信はパソコンの画面で確認し、必要な場合のみ印刷する	○
	⑥新入社員研修にマイバッグ・マイ箸の使用推奨、持ち込んだゴミの持ち帰り、3R推進の項目を入れる	○
●資源の有効活用		
取組項目	取組内容	評価
	①お客様より買い取った段ボールを利用した段ボール圧縮ブロックを有価物置場の仕切りとして活用する	○
	②お客様より買い取った鉄製コンテナを保管BOXとして活用する	○
●リサイクル率の向上		
取組項目	取組内容	評価
	①圧縮・破碎・選別の中間処理において、付加価値を高めた再資源化に努める	○
	②排出事業者様に対し、再資源化に必要な廃棄物の保存方法等の提案を行う	○
	③破碎機・圧縮機等メンテナンスの徹底 ※破碎機の刃の交換により、負荷の少ないより効率的な稼働でリサイクル率の向上に努める	○
	④排出事業者様に対して行政からの資料等を配布し分別の徹底をお願いすることにより、単純焼却の量を減らし再資源化の量を増やすよう努める	○

環境経営計画の取組結果と その評価 I

項目	単位	基準年 2022年度 実績	100%以上	70%以上	70%未満	達成度
			目標値	実績	評価	
二酸化炭素排出量	Kg-Co2	328,051	328,000	345,117		94.8
	Kg-Co2/百万円	649	765	649		115.2
購入電力量	Kw/h	9,476	9,300	9,081		102.4
購入動力量		60,099	59,000	64,686		90.4
太陽光発電量		88,701	85,000	84,896		99.8
化石燃料	灯油	396	340	234		131.2
	ガソリン	2,878	2,500	3,421		63.2
	軽油	111,404	111,000	118,909		92.9
	液化石油ガス	Kg	45	44	16	
水資源使用量	m ³	839	820	1,072		69.3
事務所からの廃棄物排出量	Kg/人	9	9	7		120.5
リサイクル率の向上	%	70.3	72.0	76.9		106.8

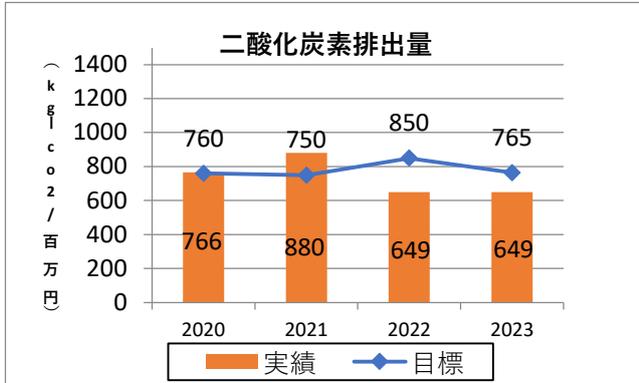


●リサイクル率

リサイクル率は前年度の70.3%から76.9%へと上がりました。

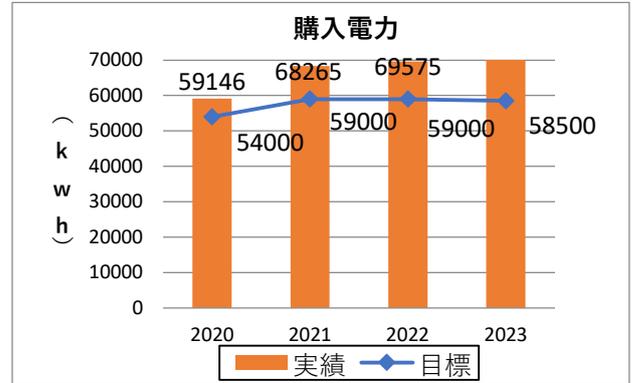
要因として、埋立処理されるガラス陶磁器くずの搬入が前年比77%までに減ったことがあげられます。また、廃プラの埋立処分が前年の45%削減に成功したことも要因のひとつです。これは今まで埋立処分しかなかった廃プラを再資源化できる処分場との新たな契約による成果と考えられます。これらのことから、今年度はリサイクル率を上げることができました。

環境経営計画の取組結果と その評価Ⅱ



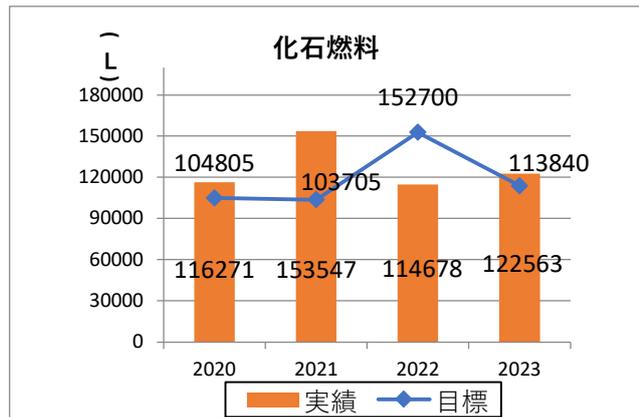
●二酸化炭素排出量

排出量では軽油や電力の使用量増加により目標達成とはなりませんでした。売上100万に対する実績でみると目標達成することができました。



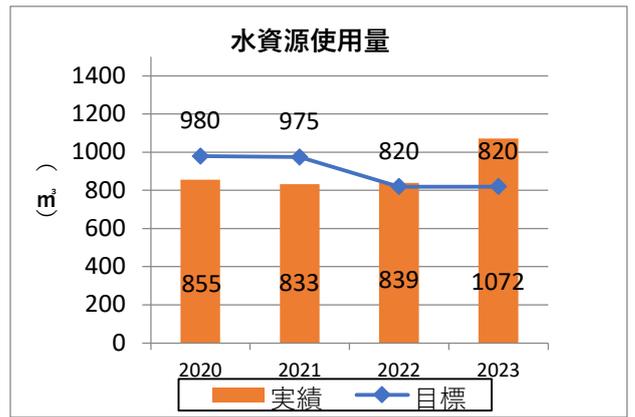
●購入電力

事務所棟の電力使用量は前年より削減できましたが、工場の使用量が目標達成できませんでした。毎月前年度の使用量を超えていることから、取扱量の増加によるためと考えられます。



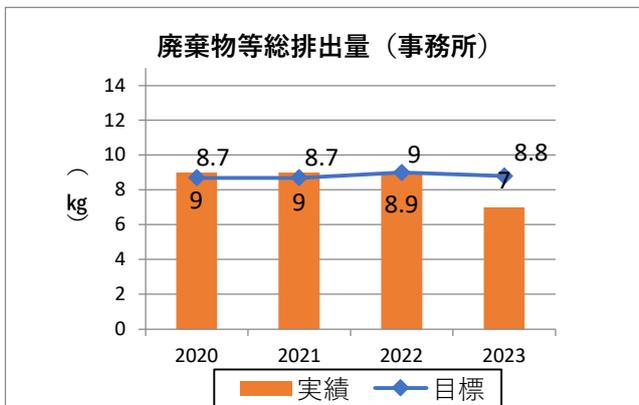
●化石燃料

自社大型車両による廃棄物の運搬を開始しました。今まで運搬を委託していましたが、自社運搬に変えたことで、軽油の使用量が増加しました。次年度は大型ウイング車の購入予定もあり、さらに軽油使用量の増加が見込まれます。



●水使用量

水の使用量は目標達成できませんでした。原因としては、新しく設けた女子トイレのタンクの不具合によるものでした。原因の究明に時間がかかり、目標達成とはなりません。



●事務所からの廃棄物排出量

事務所からの廃棄物は削減に成功しました。一般廃棄物処分場へのプラスチック搬入が厳しくなったこともあり、分別への意識が高まったためと考えられます。

■次年度の取組

～活動実績の評価×を○に変える取組～

- ①施設・車両・事務所の各項目に担当者を決めます。
- ②必要項目は管理表を作成し、担当者に渡します。
- ③管理表は施設・車両・事務所の環境管理委員がそれぞれ確認するとともに、抜き打ちで各項目ごとにチェックをします。
- ④確認状況・指示・報告は環境管理責任者及び環境管理委員が共有できるツール無いで行い、漏れないようにします。
- ⑤年間の行動計画を作成し、講習会実施の漏れないように講習会予定の前月に環境管理責任者より各担当者に確認します。

教育・研修実施計画及び実績記録

分類	講習会・研修会・勉強会	対象グループ	具体的内容	予定	実施日	
1	環境教育関係	収集運搬グループ	1.点検の重要ポイント	毎日	毎日	
			2.事故時の対処方法			
			リモートによる勉強会	入社時	随時	
			リモートにより安全且つ環境に配慮シタイヤ選びタイヤ点検法を学ぶ	入社時	随時	
			リモートにより環境及び安全運転上の注意事項と安全衛生法について学ぶ	入社時	随時	
			講習及び実技の検証	入社時	随時	
	リスクアセスメント会議		あらゆるリスクを想定し、意見交換をする	4.7.10.1月	4.7.10.1月	
	産業廃棄物処理実務者研修会	該当者	産廃の取扱の実務に必要な知識の習得	10月	10/23	
2	環境上の緊急事態関係	廃油・排水・汚水流出を想定した訓練	収集運搬グループ	緊急事態を想定し実態に沿った訓練を行う	6月	6/17
3	外部からの苦情等関係	社内勉強会	全グループ	苦情等が発生した際、即時各グループでその原因と是正を話し合う	随時	随時
4	環境関連法規関係	廃棄物適正処理講習会	全グループ	「廃棄物の処理と方法」「指導要綱」をテキストに用い勉強会を行う	入社時	随時
				1.処分と収集運搬の許可基準		
				2.排出事業者責任について		
				3.契約書について		
				4.県や環境省からの通達事項の確認		
				5.リサイクル率向上について		
6.その他(SDG'Sについて)						
5	問題の是正処置及び予防・処置関係	社内勉強会	全グループ	問題が発生した場合、各グループでその原因と是正を話し合う	随時	随時
				定期的なミーティングにより、気づきをあげ解決していく	随時	随時
	グループ長会議	各グループ長	各グループからの吸い上げを基に、協議・審議・報告を行う	随時	随時	
6	その他	消防訓練	全グループ	緊急事態を想定し実態に沿った訓練を行う	2月	2/17

●検証

油漏れを想定した訓練・・・お客様から油漏れの連絡があった際、実際には弊社による油漏れではありませんでしたが、素早く対応することができました。訓練に加え洗剤などの油漏れセットの準備も大いに役立ちました。

■安全運転講習会



■油流出を想定した訓練



■消防訓練





地域環境コミュニケーション I

◆SDG'sインタビュー



大津北中学校より、大津町におけるSDG'sに関する調査活動を通して、持続可能な視点から多面的にSDG'sと大津町の関わりの在り方について考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことを主なねらいとしたインタビューの依頼があり、4名の生徒さんが先生方と施設見学に来られました。

運ばれてきた廃棄物がどのような手順で再資源化されていくかを説明させていただきました。生徒さん達は、施設内の破砕物や圧縮・梱包された廃棄物に興味津々の様子でした。帰り際に、リサイクルをみんなに呼びかけよう！と話してくれていました。これをきっかけに、周りの生徒さん達にもリサイクルへの関心が高まればありがたいです。

◆許可看板



◆圧縮・破砕棟



◆選別・破砕棟





地域環境コミュニケーションⅡ

◆環境出前講座 ～小学校編～

12 つくる責任
つかう責任

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



6月 大津町立美咲野小学校
合志市立合志南ヶ丘小学校

7月 大津町立大津南小学校
大津町立護川小学校



●今年も近隣市町村の小学校へ環境出前講座に行ってきました。弊社が会員となっている熊本県産業資源循環協会の青年部の企画で、講師として参加しています。

環境についての座学に加え、私たちが通常業務で使っているパッカー車を見てもらいました。いつもは近くで見ることのない車両の内部に子ども達は興味津々の様子でした。

講座を通じて、地球温暖化のこと、私たちが使える資源には限りがあり分別や3Rが重要であること、私たちが排出する廃棄物を埋め立てる場所がいっぱいになりつつあることなどをしっかり学んでもらい、これからは役立ててもらえたらとても嬉しいです。



地域環境コミュニケーションⅢ

◆環境出前講座 ～幼稚園・保育園編～

✿ さくら保育園様 ✿



●さくら保育園様から毎年勤労感謝の日にとってもかわいい手作りカレンダー（写真右上）をいただいています。

感謝の気持ちを含めて、今年は出前講座にお邪魔させていただきました！

子ども達は初めて間近で見るパッカー車に興味津々の様子でした。また、ごみの投入体験にはそれぞれの個性が出ていてすごくかわいかったです。



🐻 ワクワクごみ投入大作戦 🐻

●弊社顧客の㈱PLUMPLAN様主催の保育園児と行うごみ収集イベント「ワクワクごみ投入大作戦！」に協力企業として参加しました。子どもたちに楽しく環境について考えてもらいたい、またいろんな体験をさせてあげたいという目的でやまなみこども園の園児を参加者として迎え、車両の見学やごみの投入体験をしてもらいました。サプライズでくまもんも登場し、くまもんにもごみの投入体験をしてもらいました。

子どもたちの興味はくまもんに持っていかれてしまいました💧



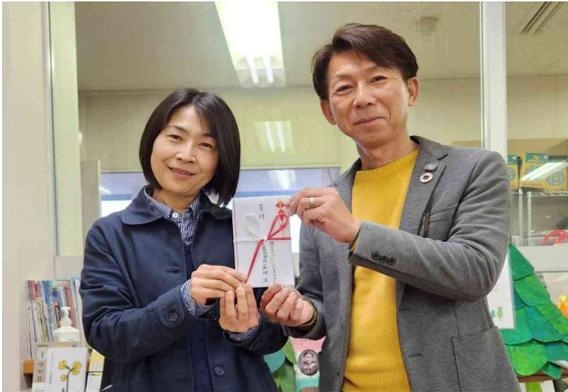


地域環境コミュニケーションⅣ



◆『優しい気持ち』を届けてきました！

今年も弊社をご利用いただいている排出事業者様よりマニフェスト発行代金としてお預かりしている大切な『優しい気持ち』を届けてきました。



●シンママ熊本応援団様へ今年は寄付をお渡ししました。仕事に子育てに奮闘されている73名のシンママさんの応援活動に役立てていただきます。



●弊社で入力業務を委託している就労継続支援A型事業所プレジャーワーク様へ寄付をお渡ししました。通所者様の研修等に活用していただきます。嬉しいことに入力を担当されていた方の就職が決まったそうです!!

◆グリーンfiver'sの安全誘導活動にたくさんの感謝の気持ちをいただきました！

社内で有志を募り非営利団体『グリーンfiver's』を結成し、護川小学校の子どもたちが安全に登校できるよう安全誘導活動を行いました。

fiver'sとは…5つのSを意味しています

Sugimizu/Smile/Safety/Sustainable/Save

私たちが杉水地区の笑顔と安全を継続して守ります♥



私たちが安全に登校できるように、守ってくださってありがとうございます。

●子ども達が育ててくれた鉢植えを頂きました。



●PTAの方からいただきました。



●護川コミュニティに参加した際、3年生たちが育てたお芋を「地域で安全誘導してくれてる皆さんで食べてください」とたくさんいただきました。

✨**ありがとうございます!**✨

環境関連法規等の遵守状況

◆該当する主な環境関連法規・条例

分類	法令名	適用事項	遵守状況
廃棄物	廃棄物処理法	排出事業者責任	○
		廃棄物の適正処理	○
		マニフェスト伝票の適正使用	○
公害	環境基本法	廃棄物の適正処理	○
		リサイクル率向上	○
	大気汚染防止法	収集車両走行時のCO2排出量削減	○
	水質汚濁防止法	洗車場排水溝の清掃	○
	悪臭防止法	毎日の運搬車両の洗車	○
	騒音規制法	エコドライブ	○
	振動規制法	エコドライブ	○
環境	循環型社会形成推進基本法	リサイクル率の向上	○
	地球温暖化対策推進法	CO2排出抑制	○
	環境教育推進法	各グループによる勉強会	○
		社外研修への参加、出前講座	○
フロン排出抑制法	天井はめこみエアコンの点検	○	
リサイクル	プラスチック資源循環法	排出事業者様への分別協力依頼	○
	資源有効利用促進法	廃棄物の適正処理	○
	容器包装リサイクル法	顧客への分別提案	○
	家電リサイクル法	家電リサイクル件の適正処理	○
熊本県条例	熊本県産業廃棄物指導要綱	マニフェスト伝票の適正使用	○
		交付状況報告書	○
	熊本県環境基本条例	法令遵守	○
	熊本県生活環境の保全に関する条例	法令遵守	○
他	消防法	消防訓練・消火器の点検	○

●環境関連法規の遵守については、弊社に適用される環境関連法規・条例の一覧にて年1回遵守状況を確認し、法改正にも都度対応・共有しております。

本年度、法・条例・要綱等に違反・訴訟はありませんでした。



代表者による全体評価と見直し

◆環境経営方針

変更ありません。

◆環境マネジメントシステム

- ①環境管理責任者の適任者の選考を行います。
- ②環境管理委員会にて取組について課題化及び共有化されていないことが多く計画から行動まで達していません。代表者にてフォローしていきます。

◆環境経営目標・環境経営活動計画及び実績と評価

環境経営目標と活動計画及び実績と評価は環境経営レポートに記載の通り。

◆次年度の見直し

- ①6月よりCPF(フラフ)燃料の生産を開始します。燃料生産量の目標を揚げ原料確保に努め、品質の高い燃料を生産します。
- ②輸送委託先の車両確保が困難な状況です。大型のウイング車を購入し、CPF燃料を販売先まで自社運搬します。
- ③燃費向上装置を夏場よりデモ導入を行い、更なる燃料使用量削減を目指します。
- ④廃プラスチックのうち再資源化不可で安定型埋立になっているものを、焼却施設での処理に変更し埋立量を減らします。
- ⑤建設廃棄物の受入量が近年増加し許容量まで達しています。今後は廃プラスチックの受入を増やし地域の課題である、より良い再資源化に貢献します。
- ⑥事業系一般廃棄物のうち可燃物の分別が不十分です。排出先・行政と連携して、排出先に専用容器を提供し、分別をお願いします。分別された廃プラスチックは、CPF燃料の原料とします。
- ⑦前年度導入のドライブレコーダーが有効に活用できていません。活用方法の再検討を担当委員会に指示し、安全・省燃費向上に努めます。
- ⑧社員の環境への取組みにおける評価が不十分です。自己の目標の設定と振り返りに役立っていません。人事グループと共有して題解決できる評価表を作成し、評価制度を見直します。

環境への取組の履歴

1993年

熊本県・熊本市産業廃棄物収集運搬業の

2001年

新社屋及び選別・保管施設を建設

2004年

熊本県産業廃棄物処分業(選別)を取得
産業廃棄物の選別施設建設・稼働



認証番号0000676

2006年

エコアクション21を取得

2008年～2017年

関連会社(有)百式にてバイオディーゼル
燃料の精製事業を行う

2010年

産業廃棄物の破碎及び圧縮・梱包施設を増設
混合廃棄物の選別ライン新設



2013年

熊本県より優良産廃業者の認定を受ける

2014年

太陽光発電システム(84Kw)を設置し発電事業開始



2015年

発泡スチロール減容器を増設



2017年

産業廃棄物の選別施設を移設拡張及び破碎設備の増設



2018年

大津町の一般廃棄物処分業を取得

2019年

水銀使用製品産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物
の積替え保管施設の許可を取得
スーパーの導入



2020年

最終処分先への輸送のため大型車両を購入
低燃費、低騒音の環境基準適合のクランプリフト、
ユンボの購入



2022年

二軸破碎機の刃の交換
低燃費、低騒音のミニショベル導入



2023年

施設事務所竣工
4tパッカー車購入
ホイローダー購入
収集運搬車両全車にドライブレコーダー設置
一軸破碎機作動油交換
3tユニック車入替
フラフ燃料製造機の設置工事開始
事務所棟玄関の植栽



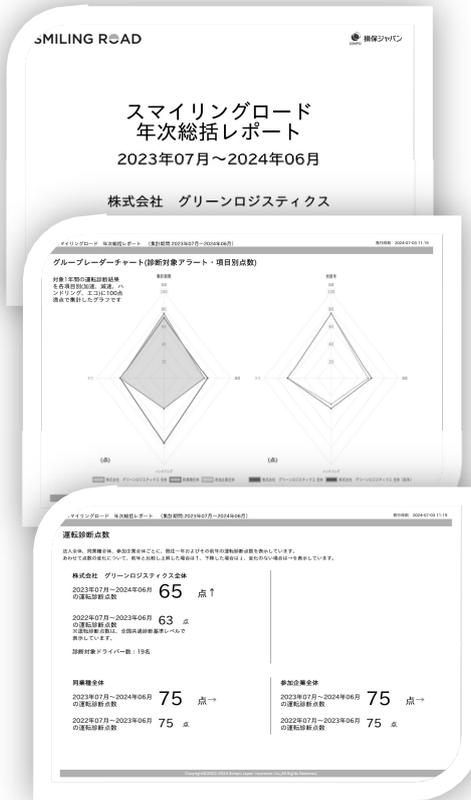
今年度の取組 I



●契約の損保会社と連携して、ドライブレコーダーを活用したスマイリングロードを導入しました。

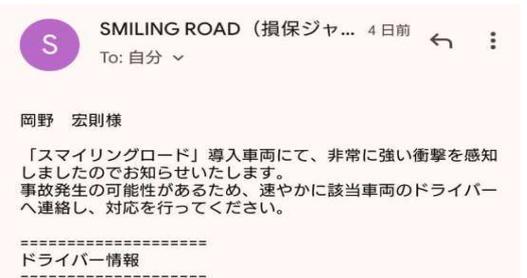


①ドライバーの運転の実態の見える化⇒自身の運転を定量データで見ることが出来ます。



②ドライバーへの運転診断をもとに指導方法をよりよく改善できます。⇒危険運転時の音声アラートで注意を促し、その動画や位置情報を確認できます。

③急発進・急加速・急ブレーキなどが減り省燃費運転ができます。



④事故などで衝撃を感じた場合、車両管理者へ通知のメールが届きます。車両ナンバー、場所や時間などの詳細な情報、動画が確認できます。



●年々厳しくなる暑さ対策として、空調付ベストを制服に導入しました。熱中症の予防や暑さによる作業効率の低下を防ぎます。



●大型車両のスムーズな搬入を可能にするため、会社まわりの道路幅を拡張しました。

今年度の取組Ⅱ

■ダイバーシティ委員会



●ダイバーシティ委員会では、年齢、性別、障がいなど様々な違いを持つ全社員が、それぞれの持つ強みを合わせる事で新たな価値を創造するための機会を提案・提供していきます。

その中で2023年の取組として女性作業員2名にもこれまでと同様にリフト資格取得の推進と支援を行い、男性同様に働くことの出来る環境を整えました。

これはSDG'sのターゲット1(あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する)に該当するものです。



●事務所棟玄関横に植栽を施しました。ご来社いただくお客様や社員の癒しとなっています。



●施設事務所をリニューアルしました。1階が事務所、2階が休憩室となっており、お持ち込みのお客様へ



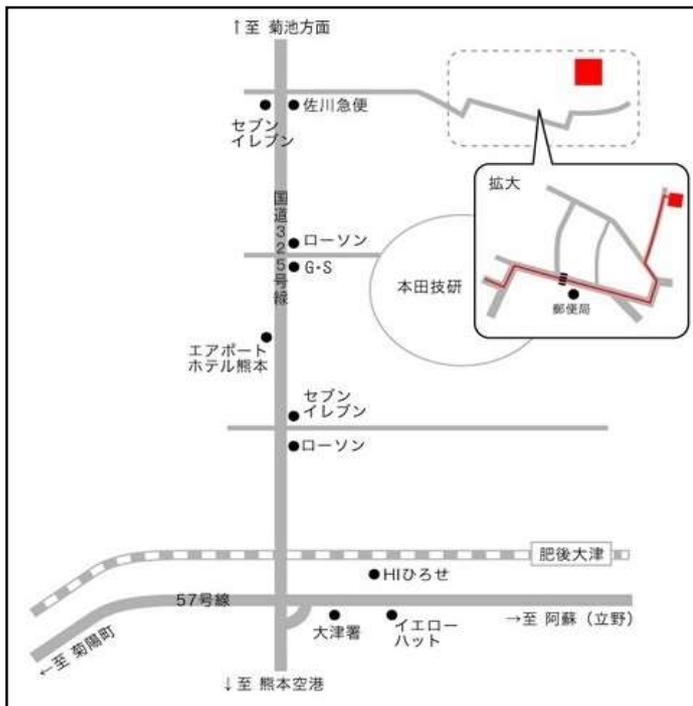
●事務所棟横の栗林を購入し、作業車両及び社員の駐車場として整備しました。



●7月に4tパッカー車、8月にホイールローダーを購入、また12月には3tユニック車の入れ替えをしました。燃費がよくなり、エネルギー使用量の削減につながります。車両や重機が新しくなったことで、作業効率が上がり騒音も抑えられます。



(株)グリーンロジスティクス
e-style camp



〒869-1236

熊本県菊池郡大津町杉水2506

TEL 096(293)0743 FAX 096(293)0747